

報道機関各位

2005年度 新入社員意識調査 <要旨>

～道内と道外における新入社員の意識の違い～

北海道生産性本部

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より当本部の諸活動におきましては格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、北海道生産性本部（会長 岡部 三男）では、（財）社会経済生産性本部 経営革新部と共同で「若者意識アンケート」を実施し、集計分析のうえ、道内企業と道外企業における新入社員の意識の比較を試みました。

つきましては、以下のとおり、本調査の要旨をご報告申し上げます。次世代を担う若手従業員についての情報として、ご活用賜りますれば幸甚に存じます。

敬具

記

1. 調査方法：

北海道データについては、2005年3月～4月に実施した当本部主催および賛助会員企業内における新入社員研修時に「若者意識アンケート」を配布し、877通の有効回答を得た。

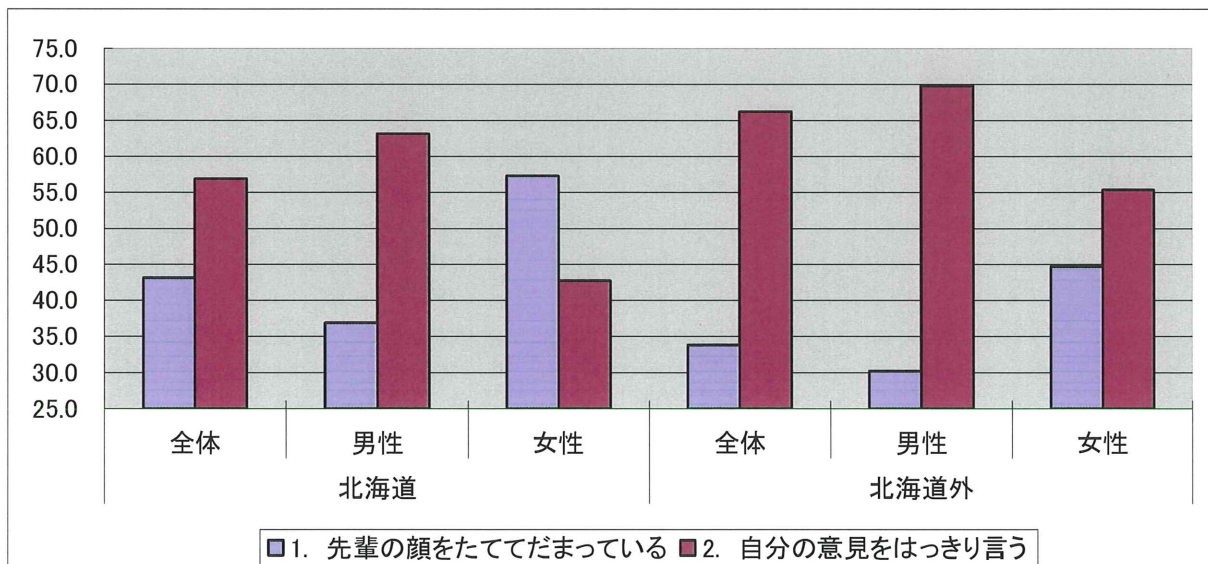
（回収率89.7%、比較対象道外データ971通）

2. 添付書類：

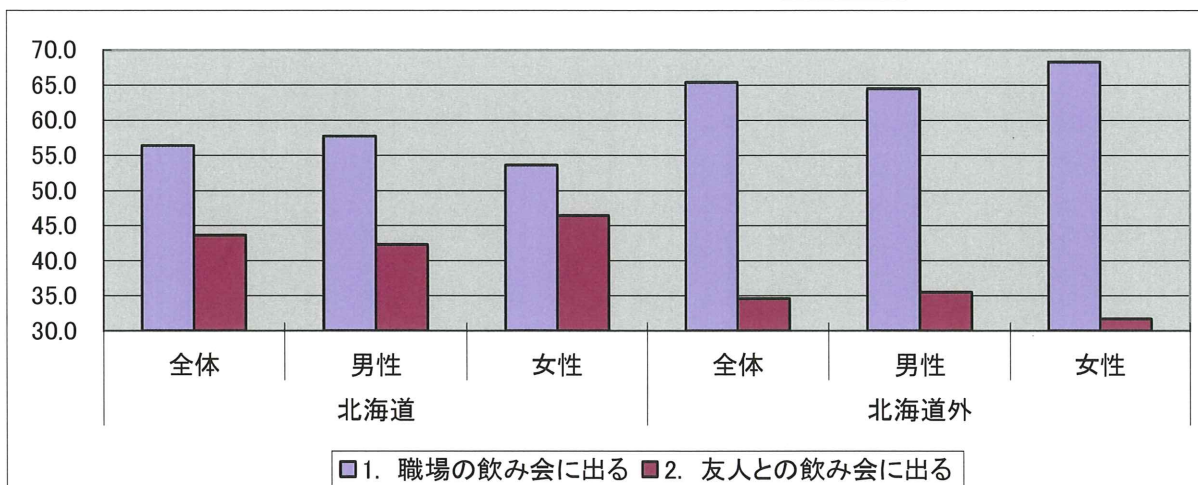
- ①本調査結果要旨（本紙3枚）～道内と道外で特に違いの目立った調査結果を纏めております。
- ②集計表（5枚）～全ての設問データを掲載しております。
- ③属性（1枚）～調査対象者の属性（性別・年齢・最終学歴など）を掲載しております。

3. 調査要旨：

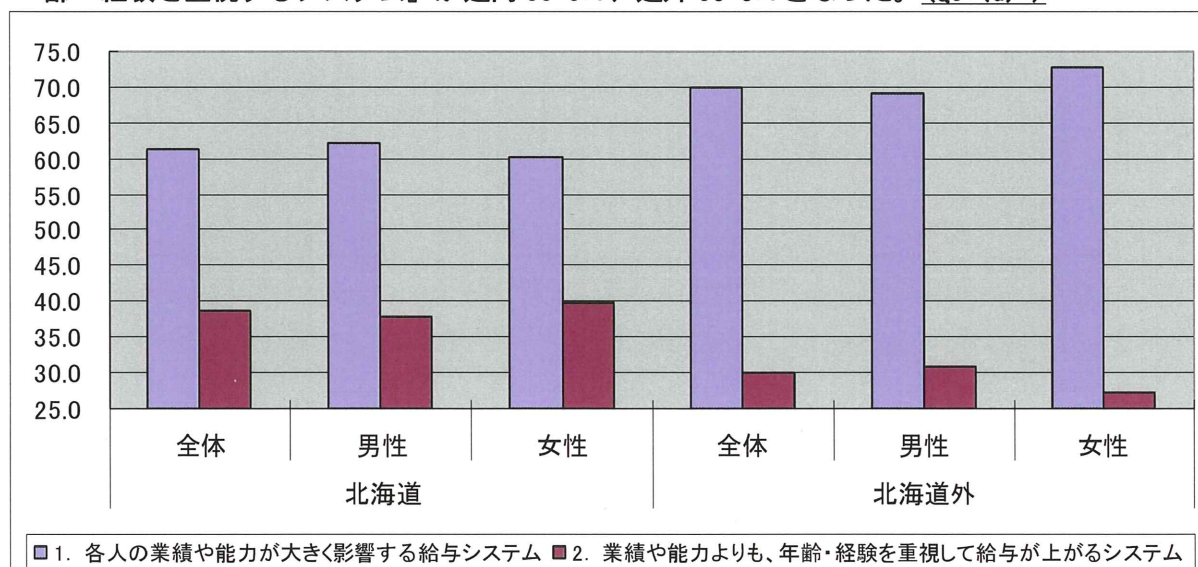
- 上司・先輩とのミーティングの席で自分のアイディアや意見が先輩と対立しそうな場面では、「先輩の顔を立てて黙っている」が道内43.1%、道外33.8%、「自分の意見をはっきり言う」が道内56.9%、道外66.2%となった。〈Q5 (a)〉



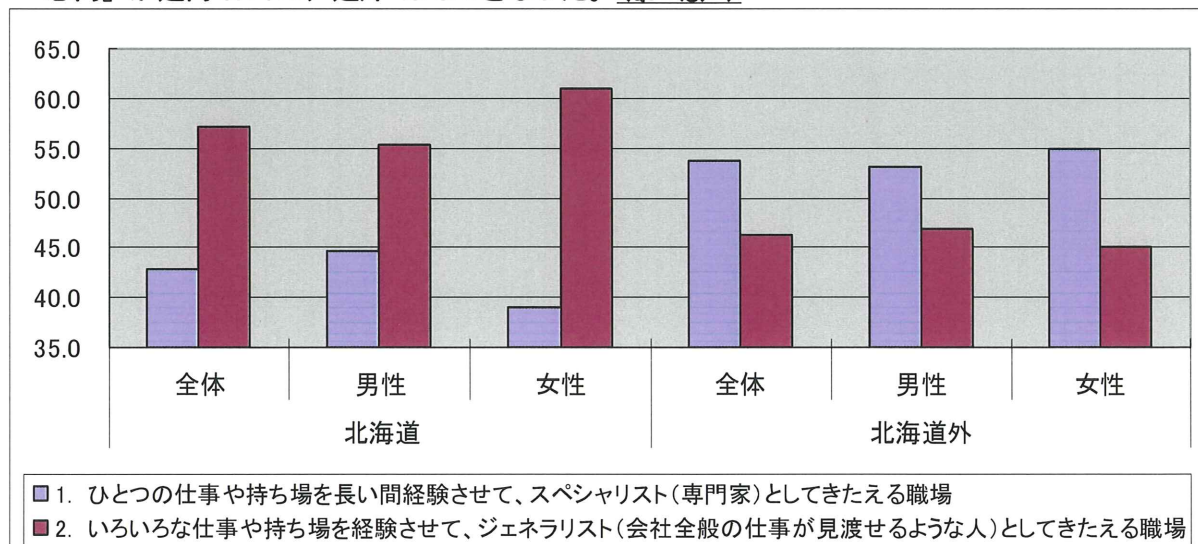
- 職場での飲み会については、「職場の飲み会に出る」が道内 56.4%、道外 65.4%、「友人との飲み会を優先する」が道内 43.6%、道外 34.6%となった。〈Q5 (c)〉



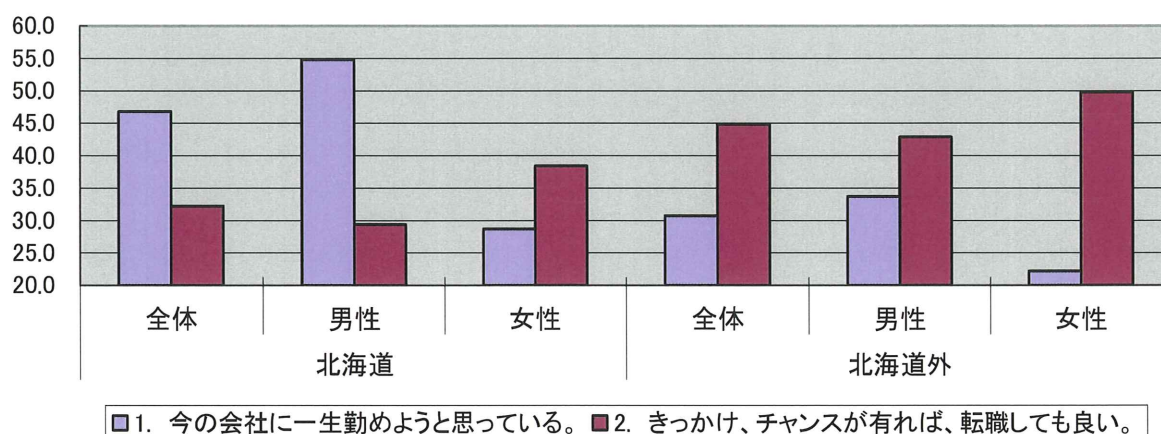
- 給料の決め方については、「業績・能力が影響するシステム」が道内 61.4%、道外 70.0%、「年齢・経験を重視するシステム」が道内 38.6%、道外 30.0%となった。〈Q6 (d)〉



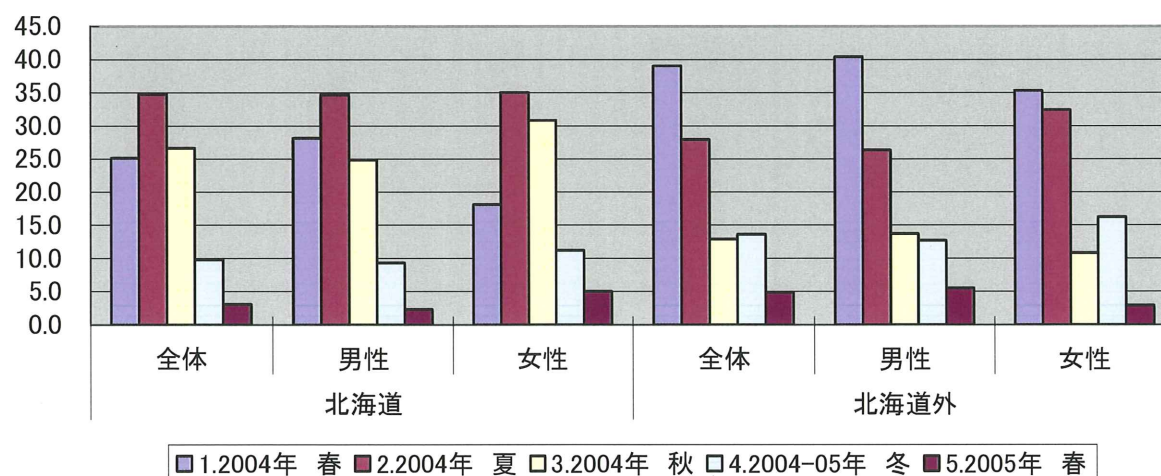
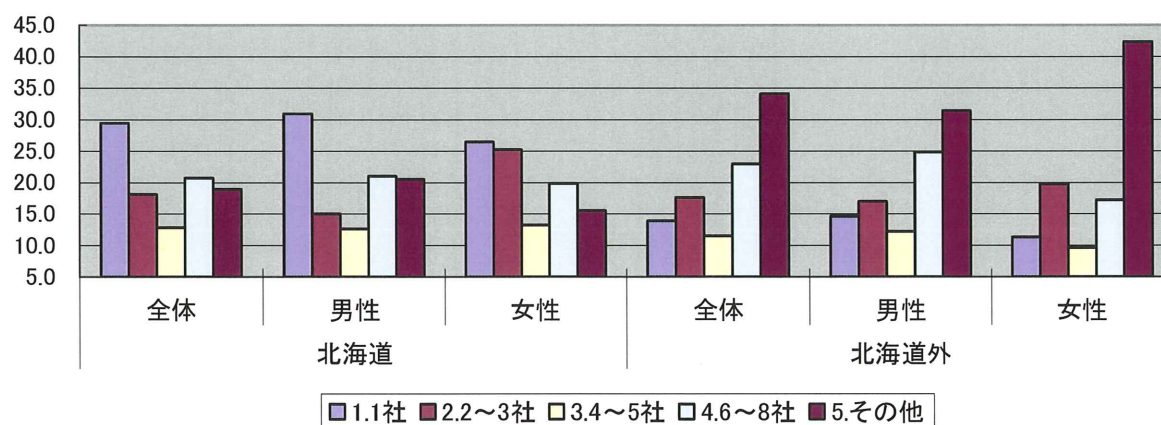
- キャリアについては、「スペシャリスト志向」が道内 42.9%、道外 53.7%、「ジェネラリスト志向」が道内 57.1%、道外 46.3%となった。〈Q6 (g)〉



- 転職については、「今の会社に一生勤める」が道内 46.8%、道外 30.7%、「チャンスがあれば転職しても良い」が道内 32.2%、道外 44.8%となった。〈Q9 (c)〉



- 就職活動に関して、訪問した会社数は道内では「1社」が最も多く、道外では「その他（9社以上）」が最も多い。また就職した会社の内定時期としては、道内は「2004年夏」が最も多く、道外では「2004年春」が最も多い。〈Q10 (c)、(e)〉



以上

【お問い合わせ先】 北海道生産性本部（担当：澤田・諸橋）

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センター6階

TEL 011-241-8591 FAX 011-241-3898